

No.	46
策定年月	令和3年1月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画

鹿児島県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県の水田面積は、約34,300haであり、このうち主食用米が約18,300ha(53%)、新規需要米・加工用米が約5,592ha(16%)、その他作物(飼料作物・野菜・果樹・そば・大豆等)が約3,369ha(約10%)となっており、なかでも、焼酎業者等から需要のある加工用米や、畜産農家からの需要の高い飼料用米、WCS用稲等の作付けが盛んな状況である。

しかしながら、近年では、高齢化等による農業従事者の減少により水稻の作付面積は減少傾向にあり、今後、水田農業の振興を図る上では、産地全体での収益力の向上が課題となっている。

また、水田の耕地利用率は98.9%と九州平均113.7%を下回っており、特に、冬期不作付地は水田面積の約5割を占めるなど活用が進んでいない状況であることから、水田における高収益作物の導入・定着が進むことが期待される。

このため、本県では、これまでの焼酎業者や畜産業など地場産業と連携した加工用米や飼料用米等の生産拡大に加え、区画整理等の生産基盤の整備を進めつつ、主食用米と比較して高い所得が得られる野菜等の高収益作物の導入を推進する必要がある。

2. 目標

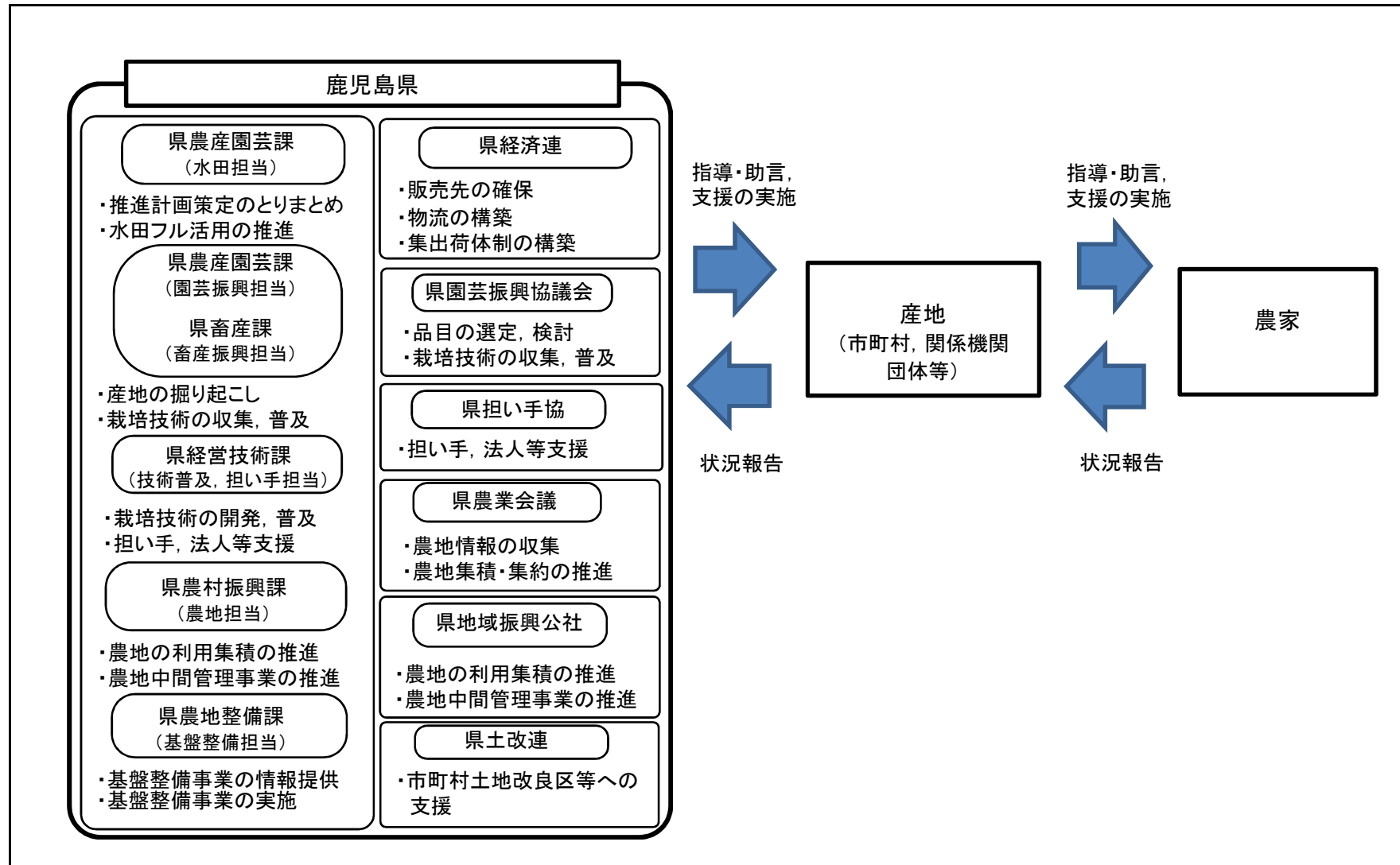
(1) 推進方針 (県内で創出する産地の数、県全体の産出額の目標等について記載)

本県では、稲作農家の経営安定と本県の特徴を生かした生産性の高い水田農業の確立を図るため、食味に優れたブランド米などの売れる米づくりを推進するとともに、加工用米や野菜等の生産振興など水田フル活用を推進しているところである。
 今後、水田農業で収益力の向上を図るには、主食用米の需給緩和が懸念される中で、主食用以外の加工用米等の生産拡大のほか、主食用米と比較して高い所得が得られる野菜等の高収益作物等の導入・定着を推進していく必要がある。
 このため、県では、鹿児島県高収益化推進チームを中心とする推進体制の下、市町村や関係機関等と一体となって、水田農業の高収益化に向けた各般の取組を進め、高収益作物等の導入産地6箇所、県全体の農業産出額5,000億円を目指す。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ミシマサイコ	加工・業務用	露地	実需者からの作付希望があり、新規品目として、栽培技術の確立を図りながら、作付拡大を進めることで、生産者の所得確保が見込めるため。	— ha (令和元年)	3 ha (令和12年)	— kg/ 10a (令和元年)	80 kg/ 10a (令和12年)	— 円 (令和元年)	23,788,800 円 (令和12年)		
葉ねぎ	加工・業務用	露地	契約取引を行っている中、実需者からの出荷量の増加に対応するため、作付拡大により生産者の所得確保が図られるため。	5.5 ha (令和元年)	7 ha (令和12年)	3,000 kg/ 10a (令和元年)	3,150 kg/ 10a (令和12年)	37,455,000 円 (令和元年)	50,053,500 円 (令和12年)		
さつまいも	加工・業務用	露地	取引先の地元の焼酎会社から、安定的な原料確保のため作付拡大を求められており、安定した価格での取引により生産者の所得確保が見込めるため。また、近年発生が確認されている「サツマイモ基腐病」について、水田での感染が確認されていないことから、今後、水田での作付拡大が見込まれるため。	1.0 ha (令和元年)	2.5 ha (令和15年)	2,763 kg/ 10a (令和元年)	3,177 kg/ 10a (令和15年)	1,574,910 円 (令和元年)	4,527,225 円 (令和15年)		
さといも	生食用	露地	他産地の作付が減少している中、水稻に代わる水田での導入・定着に当たって、多湿を好み、灌水が重要であるなど水田での有効活用に適応した品目であり、市場からの引き合いが強く安定した価格が見込めるため、作付拡大により生産者の所得確保が見込めるため。また、「さといも」の病害などの抑制に効果のある「湛水畝立て」栽培技術が確立されており、今後、水田での作付拡大が見込めるため。	1.0 ha (令和元年)	2.5 ha (令和15年)	1,892 kg/ 10a (令和元年)	2,176 kg/ 10a (令和15年)	4,692,160 円 (令和元年)	13,491,200 円 (令和15年)		
キャベツ	生食用	露地	外国産から国産への回帰が進んでいる中、県内市場関係者からの要望があり、水田裏の品目として適しており、「水稻＋キャベツ」の作付体系を確立することで、生産者の所得確保が図られるため。	— ha (令和元年)	3.0 ha (令和15年)	— kg/ 10a (令和元年)	5,540 kg/ 10a (令和15年)	— 円 (令和元年)	8,143,800 円 (令和15年)		
たまねぎ	生食用	露地	外国産から国産への回帰が進んでいる中、県内市場関係者からの要望があり、水田裏の品目として適しており、「水稻＋たまねぎ」の作付体系を確立することで、生産者の所得確保が図られるため。	— ha (令和元年)	3.0 ha (令和15年)	— kg/ 10a (令和元年)	2,216 kg/ 10a (令和15年)	— 円 (令和元年)	3,922,320 円 (令和15年)		

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

本県では、「水田農業の高収益化」の実現(目標達成)に向けて、関連施策(担い手・法人等支援／農地集積の推進／基盤整備の推進／産地育成など)の取組等と連携を図りつつ、市町村や関係機関等一体となって、リストアップした地区や対象者(生産者組織等)に取組を推進し、地域の実情に応じた高収益作物等の導入・定着を図る。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
ミシマサイコ	新規品目の導入・定着を図るため、栽培技術を確立するとともに、基盤整備実施後のほ場の団地化を進め、作付面積の拡大を図る。	県内他産地と連携をとり、現地実証ほの設置などにより栽培技術を確立し、収量向上を目指す。	実需者と連携し、契約栽培の取組を推進する。	
葉ねぎ	作付拡大の意向のある法人等に対して、重点的に推進を図り、作付面積の拡大を図る。	収穫時期ごとの適品種の作付や、適期管理により、収量向上を目指す。	契約に応じた計画出荷に努め、ロット確保により安定した価格を確保する。	
さつまいも	地元の焼酎会社と連携しながら、作付意向のある担い手農家等を中心に、重点的に作付面積の拡大を図る。 また、「サツマイモ基腐病」対策として水田での作付推進を図る。	排水対策を実施した上で、つる割れ病等の病害対策を徹底し、収量向上に努める。	地元の焼酎会社と連携し、契約栽培の取組を推進する。	
さといも	さといもは、連作に弱いことから、水稻や他作物と組み合わせた作付計画や、芽つぶれ症等を抑制できる「湛水畝立て」の栽培技術の普及により作付面積の拡大を図る。	排水対策や、輪作障害防止対策、基本技術を励行し、疫病対策を徹底し、収量の向上を目指す。	地域での選別の統一化により産地としての信頼獲得に努め、価格安定を目指す。	
キャベツ	基盤整備事業後の地域での新たな品目として、生産者ごとにほ場を集約化し、作付意向のある農業者をリストアップし、重点的に作付推進を図る。	排水対策を実施した上で、出荷時期に合わせた品種の選定により栽培技術の確立に努める。	選果選別で品質の安定確保に努め、安定した単価の確保を目指す。	
たまねぎ	基盤整備事業後の地域での新たな品目として、生産者ごとにほ場を集約化し、作付意向のある農業者をリストアップし、重点的に作付推進を図る。	排水対策を実施した上で、出荷時期に合わせた品種の選定により栽培技術の確立に努める。	選果選別で品質の安定確保に努め、安定した単価の確保を目指す。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	日置市	日置市	
2	曾於市	曾於市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	46-001
策定年月	令和3年1月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 日置市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	日置市												
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>鹿児島地域振興局</td><td>日置市</td><td>さつま日置農協</td><td>日置市農業委員会</td><td>日吉・吹上町土地改良区</td><td>日置市農業再生協議会</td></tr><tr><td>・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施</td><td>・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施</td><td>・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施</td><td>・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進</td><td>・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理</td><td>・水田活用の直接支払交付金の活用促進 ・水田フル活用ビジョンの作成</td></tr></table> <p style="text-align: center;">↓ ↑ 農家</p>	鹿児島地域振興局	日置市	さつま日置農協	日置市農業委員会	日吉・吹上町土地改良区	日置市農業再生協議会	・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理	・水田活用の直接支払交付金の活用促進 ・水田フル活用ビジョンの作成
鹿児島地域振興局	日置市	さつま日置農協	日置市農業委員会	日吉・吹上町土地改良区	日置市農業再生協議会								
・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理	・水田活用の直接支払交付金の活用促進 ・水田フル活用ビジョンの作成								

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ミシマサイコ	加工・業務用	露地	田代地区	0 ha (令和元年)	3 ha (令和12年)	0 kg/10a (令和元年)	80 kg/10a (令和12年)	0 円 (令和元年)	23,788,800 円 (令和12年)		
葉ねぎ	加工・業務用	露地	田代地区	5.5 ha (令和元年)	7 ha (令和12年)	3,000 kg/10a (令和元年)	3,150 kg/10a (令和12年)	37,455,000 円 (令和元年)	50,053,500 円 (令和12年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

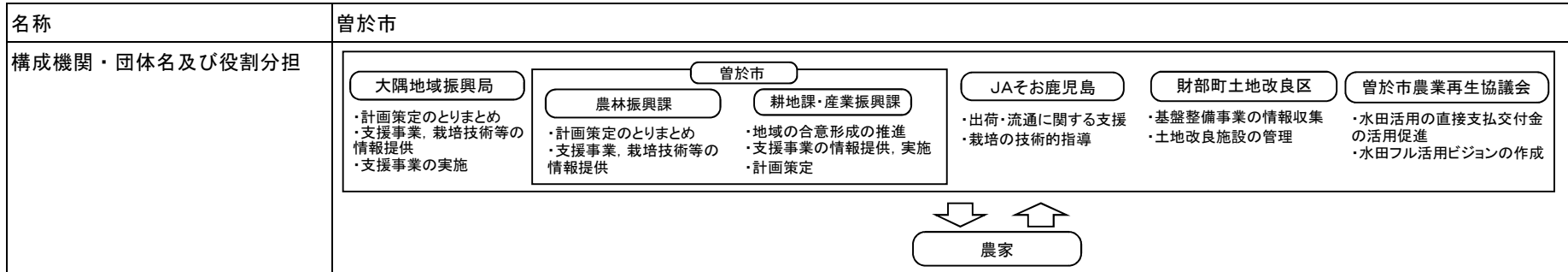
※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	46-002
策定年月	令和3年1月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 曾於市財部七村地区産地推進計画

1 計画作成主体の情報



2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
さつまいも	加工・業務用	露地	財部七村地区	1.0 ha (令和元年)	2.5 ha (令和15年)	2,763 kg/10a (令和元年)	3,177 kg/10a (令和15年)	1,574,910 円 (令和元年)	4,527,225 円 (令和15年)		
さといも	生食用	露地	財部七村地区	1.0 ha (令和元年)	2.5 ha (令和15年)	1,892 kg/10a (令和元年)	2,176 kg/10a (令和15年)	4,692,160 円 (令和元年)	13,491,200 円 (令和15年)		
キャベツ	生食用	露地	財部七村地区	0 ha (令和元年)	3.0 ha (令和15年)	0 kg/10a (令和元年)	5,540 kg/10a (令和15年)	0 円 (令和元年)	8,143,800 円 (令和15年)		
たまねぎ	生食用	露地	財部七村地区	0 ha (令和元年)	3.0 ha (令和15年)	0 kg/10a (令和元年)	2,216 kg/10a (令和15年)	0 円 (令和元年)	3,922,320 円 (令和15年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。